

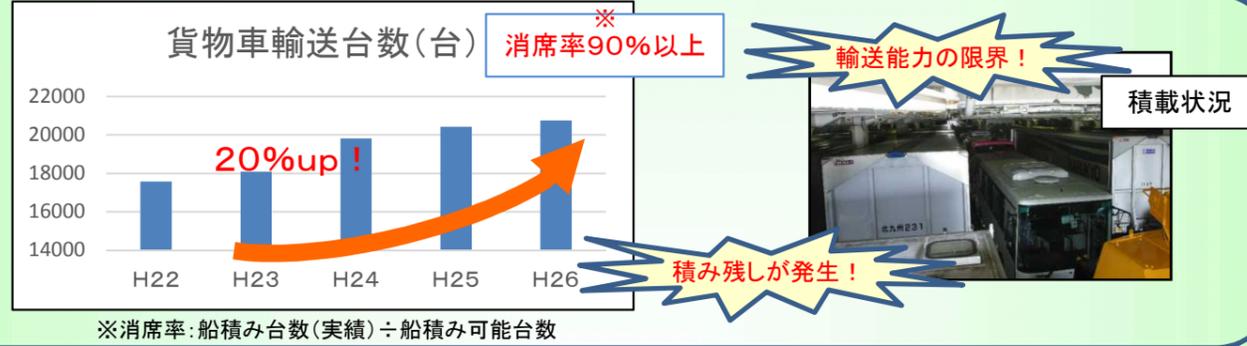
# ～ 海と陸の結節点の整備による、新たなステージの幕開け～

～ 輸送効率と防災対応能力が飛躍的に向上！～

～ 輸送の確実性、安全性をUP！～



徳島小松島港には、四国で唯一の東京と北九州を結ぶ定期航路が就航しており「**四国の玄関口**」としての役割を担っている。



課題解決のため



複合一貫輸送ターミナル整備

- ★北九州市から本店を移転
- ★大型化した新型フェリー建造

これまで	完成後
11,500ト	13,000ト
積載容量	積載容量
約1.6倍	
岸壁水深 7.5m	岸壁水深 8.5m
120台 積載可能	190台 積載可能

輸送効率UP!

モーダルシフトの促進(陸上輸送⇒海上輸送)

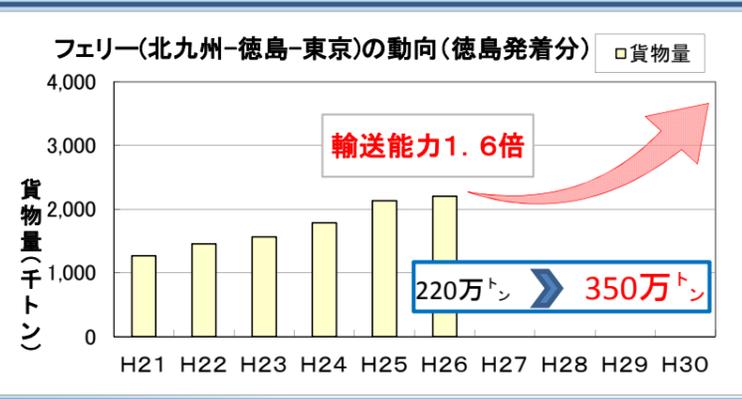
- ★長距離ドライバー不足に効果発揮
- ★温室効果ガス削減

「災害時の輸送等に関する協定書」をフェリー会社と締結

H20.3.21協定締結式

H26.9.1フェリーを活用した避難・救護訓練

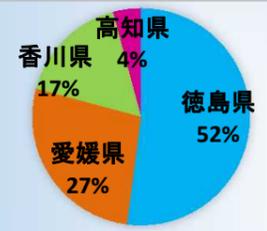
被災者及び救援物資等の輸送業務にフェリーを活用することが可能に



現在のフェリー貨物は県内工場から出荷される紙類・薬品・飲料等やその原料が主体となっている。



長距離フェリーを利用する四国の企業割合



【長距離フェリー会社の声】

輸送能力の大幅な向上と営業圏域の拡大により、「四国の新たな荷主の確保」や、「新たに中小ロットの荷物の輸送」などが可能となり積極的な営業活動が進められる。

## 海と陸が直結!

